

この本の内容は凄く自然に受け取ればで理解していくことが出来ました。恵琴先生と一緒に働かせていただいた一ヵ月間に、その要素が全て詰まっていたと感じたからです。

読み終わった時はスッキリとして、やる気に満ちた思いになりました。

一番感じたことは、全ては努力し、磨いていきたいと望む自発的な自分の気持ちが大切だということですよ。より以上を目指すにも繋がるのかも知れませんが、みんな誰しも

成長したい向上していきたい気持ちはあると思います。さすが、そのエネルギーをどの方向に注ぎ、目指し進んでいくのかが重要だと思いをした。それにより悪にも善にもなるからです。この本を読むことで、人間とはどういうものなのか。人間というものを理解し、世の中を理解し知ること。随分と心が軽くなりました。

ですが理解できたところで、今の私がすぐに成長する事は出来ないのです。知ったこと

で意識出来るようになり、今までよりは少し成長速度が速くなるかもしれません。

意識の差が成長の差になることを理解し、どれだけ日々意識出来るかなのです。それを思い、十月から「成長日記」を書くことにしました。日々の仕事の中での学び、人間関係を中心に書くことで客観的に捉え、考える習慣をつけていきます。

そして、目の前のことに真剣に取り組み、ここで自分の感性を信じ一日、一日努力して積み重ねていきます。そこから様々な境涯が見えてくるのだと思います。境涯を知っていることで見えやすくなり、今、この状況はどここの境涯なのかを理解しているだけでも心に余裕が生まれ判断も変わってくるように思います。感情だけに流されず、理性と感性のバランスをとりながら、今のステージよりもっと上かかっていくという覚悟を持ち日々努力致します。

また迷った時、悩んだ時、この本を読み返

し、その時に引っかかる内容、言葉を心で確認していきたいと思います。

そして、初めて行なった本の要約を通して学んだこと、気づきを仕事の中に生かして行きます。

ありがとうございました。